



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <https://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	98,675	14.0	4,342	68.0	5,021	80.5	3,078	64.6
2023年3月期第2四半期	86,564	3.0	2,584	14.5	2,781	31.2	1,869	52.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,678百万円 (89.1%) 2023年3月期第2四半期 2,473百万円 (14.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	48.40	
2023年3月期第2四半期	27.94	24.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	195,193	95,675	48.9
2023年3月期	177,246	82,776	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 95,533百万円 2023年3月期 82,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		21.00		21.00	42.00
2024年3月期		21.00			
2024年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	10.5	13,000	34.2	14,200	42.1	9,100	15.2	127.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年11月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	72,196,487 株	2023年3月期	72,196,487 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,065,062 株	2023年3月期	10,936,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	63,600,237 株	2023年3月期2Q	66,924,289 株

(注)期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年11月28日(火)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、T Dnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスが5類へ移行したことに伴う経済活動の正常化や賃上げ等による雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、ウクライナ問題の長期化や中東情勢の不安定化、物価の高止まりや人手不足による供給面での制約など、先行きの見通せない状況で推移しております。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資は緩やかながら増加基調にあり、建設需要は底堅さを維持しているものの、鋼材をはじめとした原材料価格・エネルギー価格の高止まりなど、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、98,675百万円（前年同四半期比14.0%増）となり、利益面におきましても、売上高の増加やコスト削減など当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は4,342百万円（前年同四半期比68.0%増）、経常利益は5,021百万円（前年同四半期比80.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても3,078百万円（前年同四半期比64.6%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫及び大型商業施設向け重量シャッター等が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は41,363百万円（前年同四半期比19.6%増）となり、営業利益は3,080百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

2. 建材関連製品事業

大型商業施設向けスチールドア等が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,330百万円（前年同四半期比12.0%増）となり、営業利益は1,243百万円（前年同四半期比327.1%増）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応や定期保守メンテナンス等が堅調に推移しましたので、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,166百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、営業利益は2,107百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

4. リフォーム事業

ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しており、連結子会社B Xゆとりフォーム株式会社を中心に、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,110百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、営業利益は20百万円（前年同四半期は営業損失22百万円）となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業等が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,704百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、営業利益は364百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は195,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,946百万円増加しました。流動資産は112,130百万円となり、4,500百万円増加しました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少(4,575百万円)した一方で、商品及び製品が増加(4,202百万円)、現金及び預金が増加(2,848百万円)、原材料及び貯蔵品が増加(1,149百万円)、電子記録債権が増加(567百万円)したことが主な要因であります。固定資産は83,062百万円となり、13,446百万円増加しました。これは、投資その他の資産のその他が減少(552百万円)した一方で、のれんが増加(5,668百万円)、無形固定資産のその他が増加(3,530百万円)、有形固定資産のその他が増加(2,175百万円)、投資有価証券が増加(1,665百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は99,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,047百万円増加しました。流動負債は74,153百万円となり、2,414百万円増加しました。これは、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の転換による減少(9,540百万円)、支払手形及び買掛金が減少(3,425百万円)した一方で、短期借入金が増加(13,890百万円)、流動負債のその他が増加(1,607百万円)したことが主な要因であります。固定負債は25,363百万円となり、2,633百万円増加しました。これは、役員退職慰労引当金が減少(18百万円)、長期借入金が増加(6百万円)した一方で、固定負債のその他が増加(2,213百万円)、退職給付に係る負債が増加(434百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は95,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,899百万円増加しました。これは、配当金の支払いにより減少(1,293百万円)した一方で、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い自己株式を充当したこと等により自己株式が減少(10,550百万円)したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(3,078百万円)により増加、その他有価証券評価差額金が増加(1,129百万円)したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、33,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,814百万円(9.1%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3,392百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5,003百万円、売上債権及び契約資産の減少額4,901百万円、減価償却費2,169百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額4,726百万円、仕入債務の減少額4,239百万円、法人税等の支払額2,035百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は12,230百万円(前年同四半期比931.9%増)となりました。支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出9,657百万円、有形固定資産の取得による支出2,395百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は11,931百万円(前年同四半期は3,719百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額13,889百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額1,292百万円、リース債務の返済による支出627百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗及び今後の見通しを勘案した結果、2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2023年11月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,405	34,253
受取手形、売掛金及び契約資産	45,290	40,715
電子記録債権	8,267	8,835
商品及び製品	9,768	13,970
仕掛品	1,862	2,166
原材料及び貯蔵品	7,444	8,593
その他	3,753	3,788
貸倒引当金	△162	△191
流動資産合計	107,629	112,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,631	12,081
土地	12,616	13,116
その他(純額)	10,543	12,718
有形固定資産合計	34,791	37,916
無形固定資産		
のれん	4,259	9,928
その他	4,330	7,861
無形固定資産合計	8,590	17,789
投資その他の資産		
投資有価証券	16,117	17,783
退職給付に係る資産	1,751	1,773
その他	8,606	8,054
貸倒引当金	△241	△254
投資その他の資産合計	26,234	27,356
固定資産合計	69,616	83,062
資産合計	177,246	195,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,825	15,400
電子記録債務	21,217	20,897
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	9,540	—
短期借入金	1,498	15,389
未払法人税等	1,659	1,718
賞与引当金	4,043	4,312
役員賞与引当金	136	69
工事損失引当金	341	281
その他	14,477	16,085
流動負債合計	71,739	74,153
固定負債		
長期借入金	24	17
役員退職慰労引当金	256	238
役員株式給付引当金	34	44
退職給付に係る負債	17,744	18,178
資産除去債務	53	53
その他	4,616	6,829
固定負債合計	22,730	25,363
負債合計	94,469	99,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,280	11,292
利益剰余金	62,699	64,473
自己株式	△11,654	△1,103
株主資本合計	78,377	89,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,675	3,805
土地再評価差額金	△46	△46
為替換算調整勘定	543	1,063
退職給付に係る調整累計額	1,051	997
その他の包括利益累計額合計	4,224	5,819
非支配株主持分	174	142
純資産合計	82,776	95,675
負債純資産合計	177,246	195,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	86,564	98,675
売上原価	64,403	72,649
売上総利益	22,160	26,025
販売費及び一般管理費	19,576	21,682
営業利益	2,584	4,342
営業外収益		
受取利息	8	15
受取配当金	171	166
受取賃貸料	35	37
為替差益	298	596
その他	148	280
営業外収益合計	663	1,096
営業外費用		
支払利息	110	132
持分法による投資損失	310	187
その他	46	98
営業外費用合計	466	418
経常利益	2,781	5,021
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	401	15
特別利益合計	403	17
特別損失		
固定資産除却損	7	35
特別損失合計	7	35
税金等調整前四半期純利益	3,177	5,003
法人税等	1,303	1,919
四半期純利益	1,873	3,083
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,869	3,078

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,873	3,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△657	1,045
為替換算調整勘定	739	160
退職給付に係る調整額	△76	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	594	456
その他の包括利益合計	600	1,595
四半期包括利益	2,473	4,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,470	4,673
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,177	5,003
減価償却費	1,939	2,169
のれん償却額	148	222
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△140	269
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△107	△67
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	17	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△121	336
受取利息及び受取配当金	△180	△181
支払利息	110	132
投資有価証券売却損益 (△は益)	△401	△15
固定資産処分損益 (△は益)	5	33
持分法による投資損益 (△は益)	310	187
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	5,667	4,901
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,492	△4,726
仕入債務の増減額 (△は減少)	817	△4,239
その他	△807	1,279
小計	4,972	5,348
利息及び配当金の受取額	210	211
利息の支払額	△110	△131
法人税等の支払額	△1,955	△2,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,117	3,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	52	△33
投資有価証券の売却による収入	465	86
投資有価証券の取得による支出	△12	△11
有形固定資産の売却による収入	7	6
有形固定資産の取得による支出	△1,406	△2,395
無形固定資産の取得による支出	△261	△429
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△9,657
貸付けによる支出	△30	△42
貸付金の回収による収入	52	40
その他	△52	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,185	△12,230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	13,889
長期借入れによる収入	55	—
長期借入金の返済による支出	△20	△5
リース債務の返済による支出	△549	△627
自己株式の売却による収入	305	—
自己株式の取得による支出	△2,167	△0
子会社の自己株式の取得による支出	—	△15
配当金の支払額	△1,341	△1,292
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	—	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,719	11,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	△278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,728	2,814
現金及び現金同等物の期首残高	35,966	31,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,237	33,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、自己株式を10,550百万円処分したこと等により、当第2四半期連結会計期間末の自己株式の残高は1,103百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	34,597	34,226	12,221	2,880	83,926	2,637	86,564	—	86,564
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	34,597	34,226	12,221	2,880	83,926	2,637	86,564	—	86,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,468	14	229	0	2,711	515	3,227	△3,227	—
計	37,066	34,240	12,450	2,880	86,638	3,153	89,791	△3,227	86,564
セグメント利益又は損失(△)	2,600	291	1,690	△22	4,558	334	4,893	△2,308	2,584

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,308百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,306百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	41,363	38,330	13,166	3,110	95,970	2,704	98,675	—	98,675
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	41,363	38,330	13,166	3,110	95,970	2,704	98,675	—	98,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,473	62	229	0	2,766	435	3,202	△3,202	—
計	43,837	38,392	13,396	3,111	98,737	3,140	101,877	△3,202	98,675
セグメント利益	3,080	1,243	2,107	20	6,451	364	6,815	△2,473	4,342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,473百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,472百万円、棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、連結子会社であるBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTDが新たにDOORWORKS AUSTRALIA PTY LTDの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては757百万円であります。また、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、連結子会社であるBX BUNKA NEW ZEALAND LIMITEDが新たにWindsor Doors Limited、Windsor Doors (South Island) Limited、Jones Door Company (2005) Limited及びDoors 2000 Limitedの4社(以下、「Windsorグループ」)の株式を取得し、Windsorグループを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては4,782百万円であります。また、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。